

## 第二次沖縄市自殺対策計画（案）に関するパブリックコメントの結果について

「第2次沖縄市自殺対策計画(案)」に関するパブリックコメント手続について、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。いただいたご意見に対する市の考え方を取りまとめましたので公表いたします。

### (反映状況の区分)

- A：意見を反映し、案を修正した      B：実施段階または今後取組を検討する  
C：意見を反映できなかった      D：その他

No.	頁	意見等	意見等に対する考え方	区分
1	38	若年層の自殺防止について小中学生を対象にする文言は多く見受けられるが、高校生に対するものがない。高校は県の管轄かもしれないが進路に悩む世代にも自殺を考える人も多いので考慮するべきだと思う。また学校への啓発だけでは、市内の小中学生しか該当しない。(市外に通う市民はどうするのか。)各家庭、自治会への働きかけもするべき。	いただいたご意見を参考に、現在実施している取り組みを活かしつつ、高校生以上の対象に向けても発信できるよう、各関係部局と共有・連携し、取り組みの推進に向け働きかけていくことを検討致します。 そして、若年層がキャッチしやすい情報発信の在り方を検討していくとともに、これまでも取り組んでいる市広報誌やホームページ・SNS等による情報提供を継続し、相談・支援の充実と相談窓口の周知に努めてまいります。	B
2	-	働く世代にたいしては会社が定期的にストレスチェックをすることで必要な人には面談がある。若い世代にも学校で実施しているか不明だが、もし無いのであれば実施してほしい。実施が出来ない方(不登校、市外への通学)には郵送、マイナアプリでも対応してほしい。	ストレスチェックとは異なりますが、市内の小中学生に対して、教育相談等で困り事を抱える児童の把握に努めるよう取り組んでいます。 不登校児童生徒については、適応指導教室すだちやほっぷすてっぷくらぶ、フリースペースゆめさき、市内児童館等に通う児童生徒についても、支援員が相談活動を行っており、気になることがあ	B

No.	頁	意見等	意見等に対する考え方	区分
			<p>た場合は学校や保護者と共有しています。</p> <p>今後も上記のような取組を継続し、子ども・若者の相談先の確保やこころの健康状態の把握等に努めてまいります。</p>	
3	6	<p>P6の自殺者数のグラフに加え、沖縄県内の病院や精神科と連携を図り、沖縄市民の自殺未遂者が何人発生しているのかも付け加えて欲しいです。</p>	<p>厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」（本計画の参考資料）では、自殺者における自殺未遂歴の有無について市町村別に公表されております。いただいたご意見の内容を踏まえ、本市の自殺者における自殺未遂歴がある者の割合を示した図8(p10)を追加しました。</p>	A
4	10	<p>P10のグラフによると、うつ状態やアルコール依存症等の精神疾患が自殺の要因とあります。</p> <p>では、沖縄市内のそれらの患者数「自立支援医療制度利用者(自殺率が高いとされている疾患別)や入院者」を沖縄県と情報を共有し、数値で示してほしいです。</p>	<p>自殺と精神疾患の関連が強いと考えられている理由としては、自殺は精神的変調をきたした状態で冷静な判断ができない状態に陥った際に引き起こされることが多いことが明らかになっているためであり、精神疾患を抱えている方はそうでない方と比べてその状態に陥りやすいと考えられていることが挙げられます。</p> <p>P11のコラムにもあるように、平均4つ以上の要因が連鎖する中で自殺が起きていることが多く、自殺対策では精神疾患の有無以外の自殺促進要因についても考慮していく必要があります。つまり、自殺自立支援医療制度利用者や入院者が自殺リスクのある方とは一概にいえないため、本計画で数値を示すことで市民・支援者・当事者に不適切な認識を広げてしまう可能性が考えられます。ただし、WHOや日本での調査においても、精神</p>	B

No.	頁	意見等	意見等に対する考え方	区分
			<p>疾患と自殺の関連性を示す調査結果もあることや、数値として示すことで沖縄市の精神保健福祉の現状が把握できる意義も考えられるため、いただいたご意見の趣旨は担当部局と共有して検討し、今後「福祉事務所の概要」等の本計画以外の報告誌での掲載等、検討致します。</p> <p>頂いたご意見をもとに、p23 に自殺と精神疾患の関連についてより詳しく記載したコラムを追加させていただきました。</p>	
5	26	<p>P26 の「ゲートキーパー研修」に関する動画を作成し、沖縄市の広報誌に QR コードを載せ、企業や学校を始め、多くの市民に周知してほしいです。</p>	<p>今後、多くの市民が、ゲートキーパー養成研修を受講できるよう、動画の活用等、工夫に努めて参ります。</p>	B
6	29	<p>P29 の「市民の声」にあるように、相談先の職員は、昼間しか対応していなかったり、また、夜間は手薄で電話やチャットの対応が難しいケースも多いと思います。そこで、相談先の連絡先を多めに確保し、少しでも何処かの機関や団体に連絡が繋がるようにしてほしいです。</p>	<p>今後、市民のあらゆる悩みに対してニーズにそのような相談先の情報の確保、少しでも多くの方がキャッチしやすい情報発信の在り方を検討し、周知に努めてまいります。</p>	B